

# せい わ

我が人生  
色の移りし  
あじさいに  
重ねてみたり  
喜怒哀楽を

あじさい

☆発行所☆

府中静和寮  
広島県府中市土生町1636番地の1  
TEL(0847)41-2375  
FAX(0847)41-8620

☆発行人☆  
寮長 大橋 互

## 静和の軌跡 ①

### 昭和の時代にみたものは

静和寮の広報がスタートするにあたり、静和寮がこれまで歩んできた道のりをもう一度ひもとき、約六十年前の時代に戻ってみることにする。

昭和十年頃、芦品郡府中町では家のない孤独の貧しい老人たちが数名、飛屋町(現在でいう駅前通り郵便局付近)に集まり住んでいた。

当時は今と比べて道幅も

狭く、まったくの裏通りであった。付近の人たちは、こうした境遇の人々に対して同情するが一方で火災を起こされたらとの不安も絶えなかった。そこで、この人たちのために収容施設



創立当時の写真はなく、昭和22年頃の静和寮  
この時は木造平屋建てであった

建設の声が有志によってこり、府中町役場へと申し込でた。

府中町当局はその申し出を快く受け入れ、町の積立金の一部を施設建設費として決め、県当局へ施設の設置を願ひ出た。時を同じくして広島県社会事業協会でも、郡部の者を収容する施設が必要であるという計画をたて、適地での救護院設立を決めていた。

当時県下では五市(広島・呉・三原・尾道・福山)には養老院があったが、概ねその市の住民だけを収容していた。それでは郡部に

に住んでいる該当者の処遇が困難との指摘があり、県下を四つのブロックに分けてブロック毎に一救護院を設置するよう計画していたのである。こうして救護院の建設が着工された。

昭和十四年一月十一日には落成式が行われ、定員四十二名で発足した。同二月一日、初めて男女各一名の老人を収容、保護し、事業を開始したのである。当初『府中救護院』と言っていたが、半年後に『府中静和寮』と名称が変更され、現在にいたっている。

(つづく)

### 次号、静和の軌跡 ② 昭和二十年代に吹いた風

## 体にやさしい健康食 豆腐のかばやき



- |   |   |                 |
|---|---|-----------------|
| 主 | 食 | 利久ごはん           |
| 主 | 菜 | 豆腐のかばやき         |
| 副 | 菜 | きゅうりの酢の物、すまし汁   |
| 果 | 物 | メロン             |
| ※ |   | 主菜の作り方は4面にあります。 |

## 『福祉』なんでも トピックス

### 『第三期』の 人生とは

この度、府中静和寮の広報紙をスタートさせることになった。

与えられた囲みは『福祉なんでもトピックス』ということなので、福祉時事なかんずく当分の間は『公的介護保険』を主題としていきたい。

『人生で百パーセント確実なのは死だけだ』と言われてきたが、どうやら加齢に伴って訪れる第三期の『老い』と『介護』の問題

は万人共通の課題と言って良いほど普遍的なテーマとなってきた。老いという言葉の裏に潜む伏線はただ者ではなく強かな難問を携えて我々一人ひとりに詰め寄ってきている。

第一期・第二期の人生を人それぞれに自己なりに賢明に生きて暮らして来た。その間に第三期の己の生き様を的確に想定できた人、

できる人がいるのか、それはおそろくゼロと言っても良い。自分だけに訪れない否きてほしくないと願っている、知らず知らずのうちにあるいは突然として訪れるのが加齢に伴う介護の問題でもある。

憲法には「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」とうたっている。しかし、

その権利の実態は多様化してきている。このところをバックボーンとして、公的介護保険が検討されている。制度課題として介護の問題を追求していくと、経済的、精神的、肉体的などがあるが、これらの問題はいまや一部を対象とした保護的制度では解決できないと踏み切って法の成立をみたところである。

法の実施とまなれば、介護そのものの中身の問題も多く事例意見等が出て、修正も加わる事と考える。

勿論、行財政問題、福祉で言えば年金・医療・福祉のバランス問題等も絡んでいるが、ひとまず囲みでは『老いと介護』をランダムに取り上げるつもりである。

(大橋 互)



# デイサービスのようす

デイサービスセンターでは、在宅で生活されている虚弱、寝たきり等のお年寄りを当ホームへ送迎し、一日を過ごしていただいています。今回はその中でも入浴について説明します。デイサービスセンターには身体状況に合わせて一般浴、リフト浴、特殊浴があります。



▲ 特殊浴



◀ リフト浴

《一般浴》ご自分で入浴できる方また援助があれば、ご自分で入浴できる方が利用されています。浴室には段差の低い段階や手摺りが設置されており、入りやすい浴室になっています。

《リフト浴》主に座位が保て、介助すれば立位ができる方が利用されています。椅子が上下し、座ったまま浴槽内に入れますので本人にはあまり負担がありません。ただし、リフトが床より一メートルくらい上がったままなので怖がられる方もおられます。

《特殊浴》寝たままの状態が入浴できる浴槽で座位が保てない方や半身マヒなどの方が利用されています。

デイサービスセンターでは利用者の方が「気持ちよかった、また入りたい」と言う言葉が自然に出てくるような入浴を日々目指しています。また、入浴に關して医師の許可があれば、どのような身体状況（経管栄養されている方など）の方でも利用していただけます。その他、ご質問がありましたらデイサービスセンターの方へ、お問い合わせ下さい。

☎(06)741-1768



## 介護者は今

主人が脳出血で倒れたのは、十三年前の四八歳の時でした。右半身マヒをりハビリで乗り越え、何とか人の手を借りずに過ごしていましたが、その後二回の脳出血や脳腫瘍で入院を繰り返して、私も退職して出来るだけ二

人の時間を多くとるように心がけ、話しかけをしました。他人とのふれあいでも晴れ、ボケ防止にもなるかと思ひ、人に薦められデイサービスを受けるようになりまし。最初は【若い】というこ

り目が離せない状態で地域の人や、デイの職員さんにもずいぶん助けていただきました。その間、何度も家の中で転び、歩けなくなりました。家での【入浴】が難しくなっていく中で迎えに来ていただき、入浴をさせても助かります。不自由になつてみて、いかに狭くて不便な家かと、

バリアフリーの家がうやうやらしく思ふ毎日で。でも寝たきりにさせないためにトイレはポータブルで時間を決めてさせているのですが、毎日持ち上げたり、立たせたりと腰の負担もきつものがあります。デイサービスで助けてもらいながら、少しでも楽な方法や器具などを使用して頑張つていきたいと思ひます。(三輪 テルコ)

## 「喜怒哀楽」

第一回

## 「喜」

奥野内科医院 奥野 府夫

これから4回にわたつて『喜怒哀楽』について書くことになりました。まず『喜』

にあつて、世の中にはいろいろな喜びがあるだろうが久しぶりか久しぶりか。そうす

他人の成功を妬み、不幸・失敗を喜ぶのが一番低級でしようが、心の奥底を覗いて見ると秘かに人の不幸・失敗を喜んでる自分を発見して愕然とします。いくら教養を修めても厳しい修行を積んでも、人間はこの不純な心を捨て去ることはできないと悟られ、親鸞聖人曰く「私は煩惱具足の凡夫」であると言われました。あの親鸞聖人さえそうなので、我々としては如何ともしがたく、ただ愚かしい自分を直視するしかないことを思い知らされます。宝くじが大当たりして【うれしい】、きれいな服を買つて【うれしい】等は

その場限りの中級の喜びの部類に入るでしょう。

主婦が毎日食事を作るのは非生産的で退屈なもので、主人なり子供なりが一言「お母さんおいしい」と言つてくれれば、作つた方として大いなる喜びであり、明日もおいしいものを食べてもらおうと元氣もできることでしょう。

この程度の喜びはこれこれ人生のスパイスとしての役割を果たしており、凡夫たる我々はこのあたりで一喜一憂しているのではないでしようか。

人それぞれ感じ方があるでしようが、自分がいてして何かして、しかも対価を求めず、その結果「あなたのおかげで助かりました。あなたがいてくれてよかったです。ありがとう。」と一生に一度でもいいから心

から感謝されるなら、これは無上の喜びであり、人と生まれて本当によかつたことに思ひます。上質の喜びというのは人との付き合いのなかで、心から感謝していただけるようなことを代償を求めず行つた時に得られるものではないでしようか。

昨今、少年犯罪の多発を考へてみますと、両親の共働き、少子化、テレビゲーム、塾通い等のために一番大切な家族との対話、友達との付き合いが希薄になつて、子供から【感謝と喜びと笑顔】が無くなつてしまつたからではないでしようか。貧乏かつたけれど笑顔があつた時代を取り戻したいものです。

次号「怒」について掲載。

### ほっといひといき

妹の心のこもつた千羽鶴  
吾が病治して欲しいとすがりつく

朝起きて芦田の川をながむれば  
樂しげに人の魚釣るをみる

山は今 萌ゆる緑につ、まれて  
風心地良く我が頬をなてる

藤野 美佐子

井上 トシヨ

矢田 シズコ



昔とった杵柄 今でも忘れてません



☆誕生会

フルムーン???



☆養護一泊レク  
淡路ワールドパークにて

行事紹介



☆特養ショッピングにて



お華クラブ (毎月1回)  
流派は自己流です

これで え～え?

おいしいお寿司 腹いっぱい食べました

毎年恒例である養護の一泊旅行、今回は瀬戸大橋、大鳴門橋、明石海峡大橋と橋のハシゴを企画した。企画の段階では、お年寄りに行きたいところを訪ねるのだが一泊二日という枠があり、あまり遠い場所というのも体力的には無理もある。選択肢が限られてくる。しかも、年に一回だけだといつてもめぼしい箇所はおおよそ行きつくしており、参加希望者もなかなか意見を出すといったことができない。

今回の淡路の旅も、たまたま明石海峡大橋が先日開通したということで決定したが、開通していなければどこに決まっていたのかという疑問が湧いてくるのも、何だか不思議である。無論、明石海峡大橋だけでは話にならない。それ以外の観光地も企画しなくてはならないのだが、これはこれで大変なのである。満足してもらえない様なスポッ

論察不賛

養護一泊旅行  
淡路を訪ねて...



大きくずれた活断層(北淡震災記念館にて)

トは、はっきり言っていないのが事実である。案の定、参加者のつまらなそうな顔がポツポツと浮かがえた。これはショックである。せっかくの旅行なのに企画したものが受け入れても

らえないということは、参加者のニーズに答えられなかったということである。こういった経験は誰にでもあるように思われるが結局のところ、参加者と職員との価値観の違いからこういう問題が生じてくる。主役はいつだって誰なのかは分かっていないもの、知らず知らず、忘れていく。

ザ・仕事師

今回は平成十年三月三十一日に退職された方々です。(敬称略)



川原 緑  
寮母・在職昭和54年4月16日～平成10年3月31日  
たいへんお世話になりました。これからのんびりと子育てに励みます。ありがとうございました。



池田 フキエ  
栄養士・在職昭和37年5月7日～平成10年3月31日  
何も言うことはありません。これから青春を謳歌します。



小島 智  
入浴サービス運転手 在職平成2年8月1日～平成10年3月31日  
皆さん優しい方はかりでしたので、今日までがんばることができました。ありがとうございましたの一言に尽きます。



森藤 重美  
夜警員・在職平成元年4月1日～平成10年3月31日  
夜警員として就職してから9年という月日が夢の如く過ぎ去りました。その間、色々な事がありましたが、大過なく勤めを果たすことができました。本当に長い間、お世話になりました。有難うございました。



# おもひでぼろぼろ

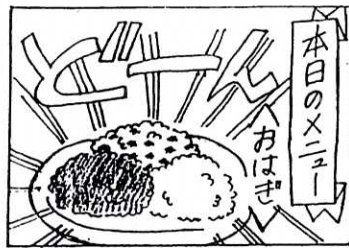
筆者：橋本 笹江



誕生会でも琴を奏でる橋本さん

## ほのぼの日記

おちるおちる…?



いつもより一時間早い食事の頂き、待ちに待った鳴門の渦潮見たさにバスに乗りこみました。  
長い長い鳴門の吊り橋、本当に素晴らしい橋で感動しました。左右を眺めても何の邪魔もなく、広く見渡せました。一五、六年前、九州で渡った橋は、鉄の幅の広い枠に邪魔されて見にくいのを思い出し、今回の鳴門の吊り橋は満足でした。

観潮船で渦潮を見たときは、いくつもの渦になっていたのでもそこにもここにもと驚き、「綺麗だね」と話合いながら見入ったものです。  
船底に降りて両側に腰掛けてみるとガラス窓になっており、船は沈み、水面は私の背丈より上の方になっていました。潮の流れが良く分かり、渦が目前にあるのでびびりました。

まさか海底の潮の流れまで見えるとは、思ってもみなかったのが本当に驚きました。ホテルは海沿いにありましたので、水際まで飛び出して行って見ました。途中の砂浜には名も知らない白紫の花がたくさん咲いており、とても綺麗でした。  
「持ち帰っても咲きはしないよ」と言われたので、代わりに色のついた小石を持ち帰り、ときおり出しておきます。北淡町震災記念館では、震災の傷跡(二メートル五センチの断面のズレ)が生なましく残っており、目を覆うような家屋の壊れ方が、方々にあったと思われまます。そのとき私は九州普賢岳の人のことを思い出しました。

でも実習が終わりに近づくと、利用者の方から「もうすぐで終わるねえ色々とお世話かけたねえ」「あんまり頑張ら過ぎずに体こわさんようにねえ」という嬉しい声を聞きました。もうそれだけで怒られたこともどこかへ消え、ここへ実習に来て、この方たちと会えて良かった、という気持ちになりました。

### 実習を終えて

貴重な瞬間を…

## 簡単レシピ

### 豆腐かばやき編

エネルギー…111Kcal タンパク質…8.1g 脂分…4.1g

材 料 (4人分)	作 り 方
豆腐 (木綿) 1丁	①ゴボウをすりおろしてあく抜きをし、長芋もすりおろす。
ゴボウ 80g	
長芋 40g	
片栗粉 大さじ1½	
塩 少々	②みりんとしょうゆを火に通して、たれをつくる。
焼き海苔 1枚	
みりん 大1	③水気を絞った豆腐に、水切りしたゴボウと長芋と片栗粉を混ぜ合わせて、塩で調味して、6つ切りにした焼き海苔の上に平らにのせる。
しょうゆ 大さじ1½	
大根 120g	
青しそ葉 4枚	
	④表面にフォークで筋目を入れてたれを塗って焼き、途中でもう一度たれを塗って焼きあげる。最後におろし大根と青しそを添えて出来上がり。

## 伝言板

- \*今の福祉に対する『生の声』を募集しております。
- \*介護上での悩みを募集しております。
- \*その他、ご意見ご感想がありましたら下記へお送りください。

【宛て先】

☎726-0021

広島県府中市土生町1636番地  
府中静和寮 広報係  
☎0847-41-2375

う気持ちになりました。見ていただけで元気になれる利用者の方たちの笑顔は、いつまでもそのままであってほしいし、その笑顔の源である寮母さんたちには、これからも明るくがんばってほしいと思っております。

《利用者の方々の一瞬を大切にしたい》そんな寮母さんたちのもとで実習をさせて頂いたこの三週間は私にとって、とても貴重な瞬間となりました。  
ありがとうございました。  
ありがとうございました。  
尾道YMC A福祉専門学校 植岡 未帆 (敬称略)

## 編集後記

せいわ第一号が出来上がりました。  
お年寄りの介護を中心に仕事をしている毎日ですが広報委員となり、新聞を作るのだ、という視点で寮内、地域を見直すと思えて気がつくことが色々ありました。

そのような記事を記事しながら委員一同勉強し、皆さんに読んで頂ける新聞作りをしたいと思いますので、これからどうぞよろしくお願いたします。